

令和 8 年度長崎県公立学校 教員採用選考第 1 次試験問題
-----------------------------------

教科・科目
-------

中学 数学
-------

受験番号		氏名	
------	--	----	--

実施日 令和 7 年 5 月 1 1 日（日）

令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験

中学数学

＊解答はすべて解答用紙の該当欄に記入すること。ただし、1は答えのみを明記し、1以外は特に指示がない限りは答えのみではなく、答えに至る過程も明記すること。

1

次の各問いに答えよ。

問1  $\sqrt{108n}$  が自然数となる自然数  $n$  のうち小さい方から3番目の数を求めよ。

問2  $N$  は4桁の自然数で  $N \pmod{3} \equiv 1$ 、 $N \pmod{5} \equiv 3$  を満たしている。このような自然数  $N$  のうち、最大のものを求めよ。

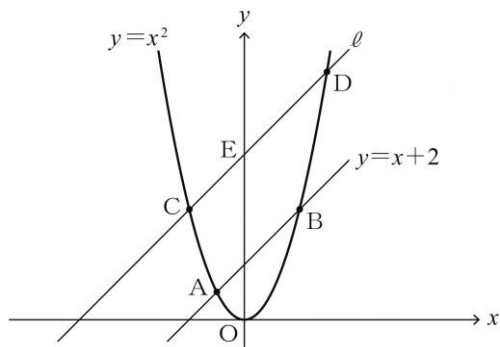
問3  $\frac{67}{91} = 0.\dot{7}3626\dot{3}$  である。 $\frac{67}{91}$  を小数で表したとき、小数第1位から小数第100位までに現れるすべての数の和を求めよ。

問4 白色のビーズがたくさん入った袋がある。この袋の中からコップ1杯のビーズを取り出すと、126個のビーズが取り出された。取り出した白色のビーズのかわりに同じ個数の黒色のビーズを袋に戻し、よくかき混ぜてから、別のコップでコップ1杯のビーズを取り出したところ、白色が80個と黒色が18個取り出された。最初、この袋の中に入っていたと推定される白色のビーズの個数を求めよ。

問5 赤玉3個、白玉7個が入っている袋Aと、赤玉4個、白玉6個が入っている袋Bがある。この袋のどちらか一方の袋を無作為に選んで、その袋から2個の玉を取り出す。取り出した玉が2個とも赤玉であったとき、袋Aから赤玉2個を取り出した確率を求めよ。

2

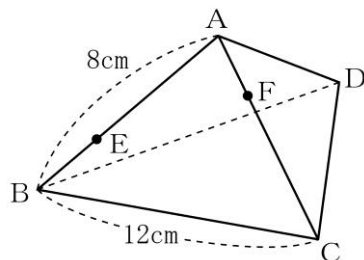
図のように放物線  $y=x^2$  と直線  $y=x+2$  の交点を A、B とし、直線  $y=x+2$  に平行で点  $(-3, 3)$  を通る直線  $\ell$  と放物線  $y=x^2$  との交点を C、D、直線  $\ell$  と  $y$  軸との交点を E とする。原点を O とするとき、次の各問いに答えよ。



- 問1  $x$  の値が  $a$  から  $a+3$  まで変化するときの放物線  $y=x^2$  と直線  $y=x+2$  の変化の割合が等しいとき、 $a$  の値を求めよ。
- 問2 交点 A、B の座標を求めよ。
- 問3  $\triangle COE : \triangle DOE$  を求めよ。
- 問4 点 A を通り、 $\triangle ACD$  の面積を二等分する直線の式を求めよ。
- 問5 四角形  $ABDC$  の面積を求めよ。

3

図のような  $AB = AC = AD = 8\text{ cm}$ 、 $BC = CD = DB = 12\text{ cm}$  である正三角錐がある。  
 辺  $AB$ 、 $AC$  上の点を  $E$ 、 $F$  とするとき、次の各問いに答えよ。



- 問1 頂点  $A$  から  $\triangle BCD$  にひいた垂線の長さを求めよ。
- 問2 頂点  $D$  から  $\triangle ABC$  にひいた垂線の長さを求めよ。
- 問3  $AE = AF$  であるとき  $\triangle AEF \sim \triangle ABC$  であることを証明せよ。
- 問4  $AE = AF = 4\text{ cm}$  であるとき、立体  $D-EBCF$  の体積を求めよ。
- 問5  $AE = CF$  となる点  $E$ 、 $F$  に対して、立体  $D-EBCF$  の体積が  $39\sqrt{3}\text{ cm}^3$  となるとき、 $AE$  の長さをすべて求めよ。

4

$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ 、 $\sin \theta + \cos \theta = t$  とするとき、次の各問いに答えよ。

問1  $\theta = 45^\circ$  のときの  $t$  の値を求めよ。

問2  $\sin \theta \cos \theta$  を  $t$  の式として表せ。

問3  $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$  を解とする  $x$  に関する 2 次方程式を 1 つ答えよ。ただし、 $\theta$  を用いない形の式で答えること。

問4 問3 で作った 2 次方程式が実数解をもつとき、 $t$  の範囲を求めよ。

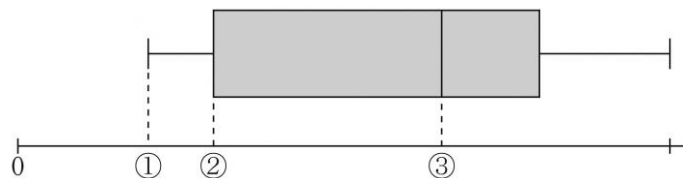
問5  $f(\theta) = -6(\sin \theta + \cos \theta) + 5\sin \theta \cos \theta$  の最大値と最小値とそのときの  $t$  の値を求めよ。

5

10 人の生徒を対象に数学と英語のテストを実施した。次は数学の得点のデータである。次の各問いに答えよ。

2、7、10、2、7、3、8、6、6、9

問1 図は、数学の得点のデータを箱ひげ図に表したものである。図中の①、②、③の値を求めよ。



問2 数学の得点の分散を求めよ。

問3 英語の得点の分散が5で、数学と英語の得点の共分散が4.32であったとき、数学の得点と英語の得点の相関係数を求めよ。

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

令和 8 年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

1

2 0 点（各 4 点）

問 1	27
問 2	9988
問 3	450
問 4	686（個）
問 5	$\frac{1}{3}$

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

2

20点（各4点）

問1	$\frac{(a+3)^2 - a^2}{a+3-a} = 1 \quad \text{より、}$ $6a+9=3$ $\therefore a=-1$
問2	$x^2 = x+2 \quad (x-2)(x+1) = 0 \quad \therefore x=2, -1$ <p>よって、交点の座標は、</p> $A(-1,1), B(2,4)$
問3	<p>直線ℓは、傾きが1で点(-3,3)を通るので、</p> <p>直線ℓの式は、<math>y = 1 \cdot (x+3) + 3 = x+6</math></p> <p>点C、Dのx座標は、</p> $x^2 = x+6 \quad (x+2)(x-3) = 0 \quad \therefore x=-2, 3$ $\triangle COE : \triangle DOE = 2 : 3$
問4	<p>点C、Dの座標は、<math>(-2,4), (3,9)</math></p> <p>C、Dの中点の座標は、<math>\left(\frac{1}{2}, \frac{13}{2}\right)</math></p> <p>よって、求める直線の式は、</p> $y = \frac{\frac{13}{2} - 1}{\frac{1}{2} - (-1)}(x+1) + 1 = \frac{11}{3}x + \frac{14}{3}$
問5	<p>CBはx軸に平行なので、</p> <p>点DよりCBに下した垂線の長さは5</p> <p>点AよりCBに下した垂線の長さは3</p> <p>また、CB=4</p> <p>よって、四角形ABDC = <math>\frac{1}{2} \times 4 \times (5+3) = 16</math></p> <hr/> <p>別解</p> <p>点Aから直線ℓに下した垂線の長さは、</p> $\frac{ -1-1+6 }{\sqrt{1^2+(-1)^2}} = \frac{4}{\sqrt{2}}$ $AB = \sqrt{3^2+3^2} = 3\sqrt{2}, \quad CD = \sqrt{5^2+5^2} = 5\sqrt{2}$ <p>四角形ABDCは台形なので、面積は、</p> $\frac{1}{2} \times (5\sqrt{2} + 3\sqrt{2}) \times \frac{4}{\sqrt{2}} = 16$



中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

3

20点（問1 3点、問2～問3 各4点、問4 3点、問5 6点）

問1	<p>頂点Aから△BCDに引いた垂線をAPとし、 BPの延長線と辺CDとの交点Hとする △BCDは一辺の長さが12の正三角形なので、</p> $BH = 6\sqrt{3}$ <p>Pは正三角形BCDの重心と一致するので</p> $\therefore BP = \frac{2}{3} \times 6\sqrt{3} = 4\sqrt{3}$ $AP = \sqrt{8^2 - \left(4\sqrt{3}\right)^2} = 4 \text{ (cm)}$
問2	<p>正三角錐A-BCDの体積は</p> $\frac{1}{3} \times \frac{1}{2} \times 12 \times 6\sqrt{3} \times 4 = 48\sqrt{3}$ <p>また、Aから辺BCにおろした垂線の足を Qとすると、</p> $AQ = \sqrt{8^2 - 6^2} = 2\sqrt{7}$ <p>よって、△ABC = <math>\frac{1}{2} \times 12 \times 2\sqrt{7} = 12\sqrt{7}</math></p> <p>したがって、底面を△ABCとしたときの 三角錐A-BCDの高さをhとすると、</p> $\frac{1}{3} \times 12\sqrt{7} \times h = 48\sqrt{3} \quad \therefore h = \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}} = \frac{12\sqrt{21}}{7} \text{ (cm)}$
問3	<p>△AEFと△ABCにおいて、 AB = AC、AE = AFより、AE:AB = AF:AC ∠EAF = ∠BAC（共通） 2組の辺の比と、その間の角がそれぞれ等しいので △AEF ∽ △ABC</p>

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

問 4	<p><math>AE = AF</math> より、<math>\triangle AEF \sim \triangle ABC</math></p> <p><math>AE:AB = 1:2</math> なので、<math>\triangle AEF : \triangle ABC = 1:4</math></p> <p><math>\therefore</math> 四角形 EBCF <math>= \frac{3}{4} \times \triangle ABC = 9\sqrt{7}</math></p> <p>よって、立体 D－EBCF の体積は、</p> $\frac{1}{3} \times 9\sqrt{7} \times \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}} = 36\sqrt{3} \text{ (cm}^3\text{)}$
問 5	<p><math>AE = x</math> とおくと、<math>AF = 8 - x</math> (ただし、<math>0 &lt; x &lt; 8</math>)</p> <p><math>AE:AB = x:8</math>、<math>AF:AC = (8 - x):8</math> より、</p> $\triangle AEF = \frac{x}{8} \times \frac{8 - x}{8} \times \triangle ABC$ $\text{四角形 EBCF} = \left(1 - \frac{8x - x^2}{64}\right) \times \triangle ABC$ $= \frac{64 - 8x + x^2}{64} \times 12\sqrt{7}$ $= \frac{3(x^2 - 8x + 64)}{16} \sqrt{7}$ <p>よって、立体 D－EBCF の体積は、</p> $\frac{1}{3} \times \frac{3(x^2 - 8x + 64)}{16} \sqrt{7} \times \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}}$ $= \frac{3(x^2 - 8x + 64)\sqrt{3}}{4}$ <p>したがって、<math>\frac{3(x^2 - 8x + 64)\sqrt{3}}{4} = 39\sqrt{3}</math></p> $x^2 - 8x + 12 = 0$ $(x - 2)(x - 6) = 0$ <p><math>\therefore x = 2, 6</math></p> <p><math>0 &lt; x &lt; 8</math> をみたす</p> <p style="text-align: right;">よって、<math>AE = 2\text{cm}, 6\text{cm}</math></p>

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和 8 年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

別解

 $0 < x < 1$  として、 $AE:AB = x:1$  とおくと

$$AF:AC = (1-x):1$$

$$\triangle AEF = x(1-x) \times \triangle ABC$$

$$\text{四角形 EBCF} = \{1 - x(1-x)\} \times \triangle ABC$$

$$= 12(x^2 - x + 1)\sqrt{7}$$

よって、立体 DEBCF の体積は、

$$\frac{1}{3} \times 12(x^2 - x + 1)\sqrt{7} \times \frac{12\sqrt{3}}{\sqrt{7}}$$

$$= 48(x^2 - x + 1)\sqrt{3}$$

$$\text{したがって、} 48(x^2 - x + 1)\sqrt{3} = 39\sqrt{3}$$

$$16x^2 - 16x + 3 = 0$$

$$(4x-1)(4x-3) = 0$$

$$\therefore x = \frac{1}{4}, \frac{3}{4}$$

 $0 < x < 1$  をみたらよって、 $AE = 2\text{cm}, 6\text{cm}$

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

令和 8 年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

4

2 0 点（問 1 2 点、問 2 3 点、問 3 4 点、問 4 6 点、問 5 5 点）

問 1	$t = \sin 45^\circ + \cos 45^\circ$ $= \frac{\sqrt{2}}{2} + \frac{\sqrt{2}}{2}$ $= \sqrt{2}$
問 2	$\sin \theta + \cos \theta = t$ の両辺を二乗すると $\sin^2 \theta + 2 \sin \theta \cos \theta + \cos^2 \theta = t^2$ $\therefore \sin \theta \cos \theta = \frac{t^2 - 1}{2}$
問 3	$\sin \theta + \cos \theta = t$ 、 $\sin \theta \cos \theta = \frac{t^2 - 1}{2}$ なので、 解と係数の関係より $\sin \theta$ 、 $\cos \theta$ を解とする $x$ に関する 2 次方程式は $x^2 - tx + \frac{t^2 - 1}{2} = 0$ $\therefore 2x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 0$

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

問4	$0^\circ \leq \theta \leq 90^\circ$ より、 $0 \leq \sin \theta \leq 1$ 、 $0 \leq \cos \theta \leq 1$ $2x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 0$ は $0 \leq x \leq 1$ に2個の解をもつ。 したがって、 $g(x) = 2x^2 - 2tx + t^2 - 1 = 2\left(x - \frac{t}{2}\right)^2 + \frac{t^2}{2} - 1$ とおくと、 $\begin{cases} g(0) = t^2 - 1 \geq 0 \\ g(1) = t^2 - 2t + 1 \geq 0 \\ 0 \leq \frac{t}{2} \leq 1 \\ \frac{t^2}{2} - 1 \leq 0 \end{cases}$ $1 \leq t \leq \sqrt{2}$
問5	$\begin{aligned} f(\theta) &= -6(\sin \theta + \cos \theta) + 5 \sin \theta \cos \theta \\ &= -6t + 5\left(\frac{t^2 - 1}{2}\right) \\ &= \frac{5}{2}t^2 - 6t - \frac{5}{2} = \frac{5}{2}\left(t^2 - \frac{12}{5}t\right) - \frac{5}{2} \\ &= \frac{5}{2}\left(t - \frac{6}{5}\right)^2 - \frac{18}{5} - \frac{5}{2} \\ &= \frac{5}{2}\left(t - \frac{6}{5}\right)^2 - \frac{61}{10} \end{aligned}$ $1 \leq t \leq \sqrt{2}$ より、 $t = \frac{6}{5}$ のとき、最小値 $-\frac{61}{10}$ $t = \sqrt{2}$ のとき、最大値 $\frac{5 - 12\sqrt{2}}{2}$

中学 数学	受験 番号		氏名	
----------	----------	--	----	--

## 令和8年度長崎県公立学校教員採用選考試験解答用紙

5

20点（問1 各3点、問2 6点、問3 5点）

問1	<p>数学の得点を低い点数順に並びかえると、</p> <p>2、2、3、6、6、7、7、8、9、10</p> <p>①は最小値なので、2</p> <p>②は第1四分位数なので、3</p> <p>③は中央値なので、5番目と6番目の点数の平均である。</p> <p>よって、<math>(6 + 7) \div 2 = 6.5</math></p> <p>① 2            ② 3            ③ 6.5</p>
問2	<p>平均は、</p> $\frac{2 + 2 + 3 + 6 + 6 + 7 + 7 + 8 + 9 + 10}{10} = 6$ <p>分散は、</p> $\frac{(2-6)^2 + (2-6)^2 + (3-6)^2 + (6-6)^2 + (6-6)^2 + (7-6)^2 + (7-6)^2 + (8-6)^2 + (9-6)^2 + (10-6)^2}{10}$ $= \frac{16 + 16 + 9 + 0 + 0 + 1 + 1 + 4 + 9 + 16}{10}$ $= \frac{72}{10}$ $= 7.2$ <p>別解</p> <p>平均は、</p> $\frac{2 + 2 + 3 + 6 + 6 + 7 + 7 + 8 + 9 + 10}{10} = 6$ <p>2乗の平均は、</p> $\frac{2^2 + 2^2 + 3^2 + 6^2 + 6^2 + 7^2 + 7^2 + 8^2 + 9^2 + 10^2}{10} = 43.2$ <p>分散は、</p> $43.2 - 6^2 = 7.2$
問3	$\frac{4.32}{\sqrt{7.2} \times \sqrt{5}} = \frac{4.32}{6} = 0.72$